【国営施設応急対策事業】

新雨竜二期地区

（しんうりゅうにき）

～地域農業を支える基幹的農業水利施設の機能保全～

地域の農業

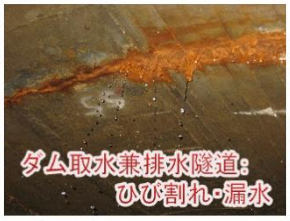
- 基幹産業である農業は、水稲が中心で野菜等を導入した経営が主体である。
- 「うりゅう米」は暑寒岳連峰の雪解け水、有機減農薬で栽培され、高品質な良質米生産に取り組んでいる。
- 水田の畑利用により生産している青果肉の暑寒メロンは甘みが深く人気を集めている。

地区が抱える課題

本地区は、国営土地改良事業（尾白利加：S28～S42、雨竜：S42～S48）により用排水施設が造成され、その後、国営新雨竜土地改良事業（H3～H18）で深水かんがい用水確保等が行われた。しかし、用排水路で水路の浮上や側壁の傾倒が発生する不測の事態が生じ、さらに一部施設では老朽化や凍害等による施設の性能低下がみられる。

× 幹線用水路及び幹線排水路で浮上や側壁が傾倒する不測の事態が発生

× ダム、頭首工、排水機、用・排水路の基幹的農業水利施設の性能低下が進行



不測の事態・劣化が進行することで
- × 突発事故等のリスク増大
- × 施設の維持管理費の増高
- × 構造的な安定性の低下

さらに
- × 用水不足による安定生産への支障
- × 排水不良による安定生産への支障

事業の目的

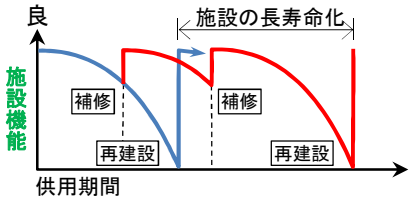
本事業では施設の機能を保全するための整備を行うことにより、農業用水の安定供給、排水機能の維持及び施設の維持管理の費用と労力の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定を図る。

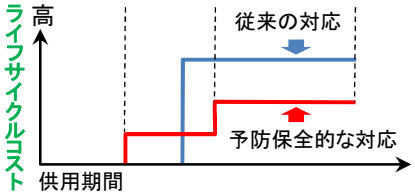
突発事故等対策

■ 突発事故等に対応し、施設機能を保全するための整備を行う。

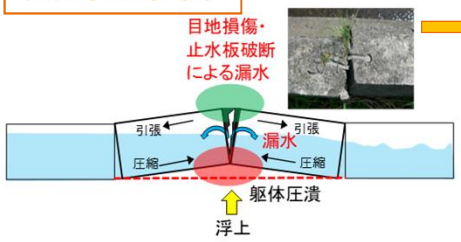
長寿命化対策

■ 施設の機能保全を効率的に実施することで、施設の長寿命化を図りライフサイクルコストを低減





突発事故等対策



対策実施

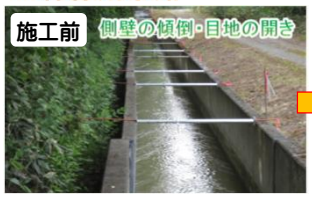
長寿命化対策

事業の実施で見込まれる効果

- ライフサイクルコストの低減
- 維持管理費の低減
- 用水の安定供給
- 排水機能の維持
- 作物生産性の維持
- 地域経済の維持
- 食料の安定供給

事業実施による効果

◆幹線用水路



幹線用水路の整備により、切梁の設置や巡回監視に係る維持管理労力が低減された。

◆ダム

防護柵の整備により維持管理作業の安全性が確保された。

事業の概要

- 関　係　町：北海道雨竜郡雨竜町・樺戸郡新十津川町（うりゅう　うりゅう　かばと　しんとつかわ）
- 事　業　着　手：平成29年度
- 受　益　面　積：2,763ha（田：2,741ha、畑22ha）
- 事業対象施設：ダム1箇所、頭首工1箇所、排水機2箇所、用水路2条 延長4.2km、排水路1条 延長0.2km
- 主　要　作　物：水稲、そば、小麦、メロンほか